

第2期十日町市まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価方法

1 評価方法について

令和2年度から令和6年度までの5年間を計画期間とした第2期総合戦略では、4つの基本目標ごとに成果指標や、基本目標の実現に向け、講ずべき施策に関する基本的方向と具体的な施策を掲げ、施策の効果を客観的に検証できる重要業績評価指標（KPI）を設定しています。

本推進会議では、個別の事業についての評価を行うのではなく、各基本目標で設定した成果指標の実績値、具体的施策で設定したKPIの実績値、基本目標達成に向けた取組など、第2期総合戦略の4つの基本目標ごとに評価を行う。

2 基本目標の評価基準等

各基本目標で設定した成果指標の実績値のほか、具体的施策で設定したKPIの実績値及び達成に向けた取組を勘案し、下記の考え方と基準により評価を行う。

※成果指標の数値目標に対する評価の考え方

【共通】

令和2年度は新型コロナウイルス感染症に伴う国の緊急事態宣言等により、県内観光入込客数は前年対比△42.7%減となっており、本市においても、公共施設等の一定期間休止・休館や、イベント等の中止から、入込数や利用者数などの実績値が大きく減少しています。評価・検証にあたっては、KPIの実績値だけでなく、達成に向けた取組や今後の展開等を勘案して評価してください。

【基本目標Ⅰ、Ⅳ】

市民アンケート調査結果が数値目標であるが、市民アンケート調査が未実施年であり検証が困難であるため、「基本目標達成に向けた取り組み」を参考とする。

【基本目標Ⅱ、Ⅲ】

令和2年度単年度の実績値のほか「基本目標達成に向けた取り組み」を参考とする。

(1) 基準表

	推進会議の総合評価
A	目標値の達成に向けて、着実に進んでいる。 (対策や事業が施され、効果が出ている)
B	目標値の達成に向けて、概ね進んでいる。 (課題等の整理がなされ、対策の実施が進められた)
C	改善や工夫が必要と思われる。